

## 第 1 1 2 回副検事の選考筆記試験問題（平成 1 5 年 8 月 1 1 日実施）

### 【憲 法】

憲法は、第 7 7 条第 1 項において、「最高裁判所は、訴訟に関する手続、弁護士、裁判所の内部規律及び司法事務処理に関する事項について、規則を定める権限を有する。」として、最高裁判所に規則制定権を認めている。

この規則制定権について、

- 1 国会の権能との関係及び最高裁判所に規則制定権を付与したことの意義
- 2 規則で定め得る事項の範囲
- 3 規則が法律と抵触した場合の効力の優劣

の観点から論じなさい。

### 【民 法】

X は、返済期限を 6 か月後として Y から 1, 0 0 0 万円を借り受け、その担保として、自己所有の土地（以下「本件土地」という。）に抵当権を設定した。X は、その抵当権設定登記申請手続を A に委託し、A に登記申請書類一式と実印を手渡した。ところが、A は、X に無断で本件土地を売却してその代金を着服しようと考え、Z に対し X の代理人であると称して本件土地を売却した。

この事例について、下記 1 及び 2 の事実関係が認められる場合の各法律関係について論ぜよ。

1 A は、直ちに Z への所有権移転登記手続を執ろうとしたが、その前に無断売却が X に発覚し、Z への所有権移転登記手続を執るに至らなかった。この場合、Z は X 及び A に対し、どのような法律上の主張をなし得るか。

2 A が直ちに Z への所有権移転登記手続を執った場合、抵当権設定登記を受けられなかった Y は、Z に対し、どのような法律上の主張をなし得るか。

### 【刑 法】

甲は、電車内において、乗客乙のポケットから、現金が入っているものと思って封筒をすり取り、甲のポケットにしまった。甲は、次の駅で降り、ホームを歩きながら封筒の中を確認したが、封筒内に現金は入っておらず、A 信販会社が発行する乙名義のクレジットカード 1 枚が入っていた。一方、乙は、クレジットカードが入った封筒を甲にすり取られたことにすぐ気づき、甲の後を追ったが見失ってしまった。乙は、ホームで他の乗客丙らの協力を求めて、甲を探したところ、数分後、乙と丙は、改札口の外に逃げていく甲を見つけ、ホームから 1 0 0 メートルほど離れた場所で甲を逮捕しようとしたが、甲は逮捕されまいとして、丙の顔面を数回殴打して乙と丙を振り切り、その場から逃走した。その際、丙は全治 5 日間を要する顔面打撲傷を負った。逃げ切った甲は、乙名義のクレジットカードで高額の時計を購入し、これを質入れして換金しようと考え、B デパートにおいて、乙を装って同カードを使い、店員の差し出した売上票に「乙」と署名をして 3 0 万円相当の時計を買った。時計の代金相当額は、後日、A 信販会社から B デパートに支払われた。甲の罪責を論じなさい。

### 【刑事訴訟法】

窃盗罪の現行犯人として逮捕され、検察庁に送致された被疑者につき、緊急逮捕の要件は具備していたが、現行犯人逮捕の要件は具備していなかったことが判明した場合に、検察官として採り得る措置について、それぞれ問題点を挙げて論ぜよ。

### 【検察庁法】

検察官同一体の原則の必要性と法的根拠について述べよ。

### 【一般教養】

次に掲げるテーマから1題を選び、思うところを述べよ。

- 1 刑事裁判の充実・迅速化について
- 2 我が国における不法滞在外国人の動向と対策